

理研よこはまサイエンスカフェ【聖光学院】開催報告

理研横浜の魅力と研究内容を地域の中・高校生に伝えるため、聖光学院中学・高等学校の生徒を理研横浜キャンパスにお迎えして、理研よこはまサイエンスカフェを開催しました。

日時：2017年12月12日（金） 13:00 -15:30

タイトル「ポストゲノム時代のタンパク質科学～タンパク質を使って発電できるか？」

講師：理化学研究所 生命システム研究センター

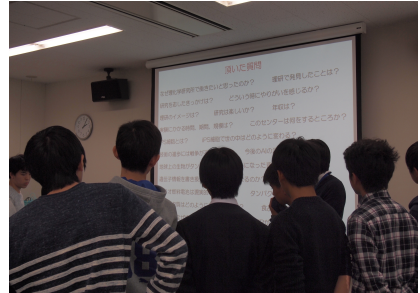
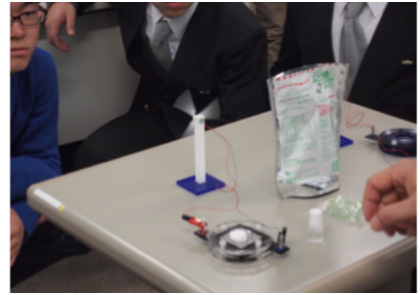
細胞動態計測コア 生体分子構造動態研究チーム 美川 務 専任研究員



ポストゲノム時代と呼ばれる現代、私達は自由にタンパク質を作り出す事ができるようになりました。参加者はまさにゲノム計画が終了した2003年前後に生まれた中学生、高校生。講義では、タンパク質とはどういうものなのかという基本的な内容から、どのようにタンパク質を作ったり、改良したりしているのかといった最新の研究を紹介しました。最後は、タンパク質を世の中に役立てる例として、タンパク質を利用した新しい発電技術について、デモンストレーションを行いました。

“バイオ燃料の授業が
非常に面白く画期的
でした！いつかあの
燃料が世の中に出回
る日を楽しみにして
います”

-参加生徒の声



理研よこはまサイエンスカフェでは、今後も地域の若年層に向けた出張講義を継続して行います。

お問い合わせ：yscafe[at]riken.jp （※[at]は@に置き換えてください。）